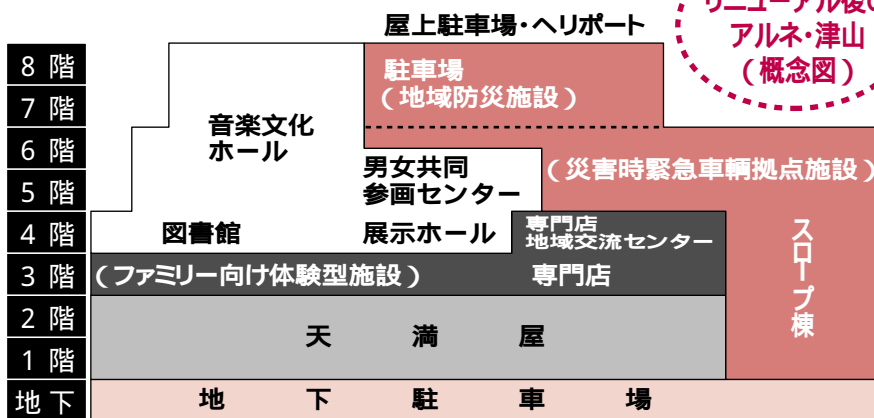


再建計画に関する予算案が可決されました

アルネ・津山再建に向けて

平成16年11月に公表された「アルネ・津山再建計画」。公的資金投入の是非や再建案、中心市街地の活性化について、さまざまな研究や論議を重ねてきた結果、1月臨時議会での再建計画などに関する補正予算案（総額約41億円。うち市一般財源約7・6億円）が可決されました。アルネ・津山再建を含む今後のおもな内容を紹介します。

リニューアル後のアルネ・津山（概念図）



津山市 津山地域振興開発(株) 津山街づくり(株)
津山市(津山地域振興開発(株)から購入) 津山市(津山街づくり(株)から購入)

アルネ・津山再建計画の特徴は、銀行団と天満屋の債権放棄などの金融支援です。これに対し市（都市整備会社を含む）は、アルネ・津山の3、4階などを津山街づくり株式会社から28億円で購入し、商業施設部分を同社に賃貸します。津山街づくり(株)はこのうちの5億円を地権者の底地などの買い取り資金にします。また、津山地域振興開発株式会社が所有するアルネ・津山駐車場の上層階部分を34億円で購入します。駐車場の一部には、地域防災施設などを整備します。

アルネ・津山の 一部床を購入

魅力ある売場にリニューアル

再建計画の実施と合わせて、段階的に商業施設のリニューアルを行います。

- ・天満屋の売場を1、2階に集約
- ・天満屋のあった3階部分に魅力あるテナントの誘致
- ・4階に広域交流を目的とする「地域交流センター」の整備

経営体制を刷新・強化

津山街づくり(株)の経営体制外部から専門家を招き入れて刷新するとともに、魅力ある商業施設となるように管理運営能力の強化を図り、経営を立て直します。また、経営の安定化を図るためテナントに対して賃料の固定化を要請し、テナント収入の確保に努めます。同社の収支計画は、再建計画実施2期目から、経常利益が黒字に転換する予定です。

津山地域振興開発(株)の 再建計画

アルネ・津山駐車場管理運営会社である津山地域振興開発(株)については、駐車場上層階

部分の市による公共化を柱としています。その売却収入で金融機関からの借入金を一括返済し、これにより、支払利息の負担が解消され、収支が安定して、事業の存続が可能となります。

実費約15億円の市負担となる まちづくり交付金事業

アルネ・津山の再建と合わせ、国の新制度である「まちづくり交付金」を活用して、中心市街地の再生を図ります。アルネ・津山の周辺に地域交流広場やバスステーションを設置します。また、商店街にまちづくり活動拠点などを整備します。5年間の計画全体の事業費は約81億円で、そのうち今後市の負担する実質額は約15億円と試算しています。

中心市街地の活性化は、商業者や地域住民の取り組みもあって初めて効果を上げるものです。まちづくりのあり方について、引き続き議論を深めていきます。少子高齢社会に対応した中心市街地における都市基盤の再整備を図ることで、活力に満ちた魅力とにぎわいのあるまちに再生するよう努めていきます。

アルネ・津山についてのお問い合わせは、市商工観光課 32 2095へTEL。または市市街地再開発事業対策室 32 2080、